

# トップレベルの健全性に自信あり。

皆さまの信頼にお応えするため、  
明治生命は健全性の高い経営に取り組んでいます。

予測を超えたリスクにも  
十分対応できる支払余力を確保しています。



ソルベンシー・マージン比率とは、大災害や株の暴落など、通常の予測を超えて発生するリスクに対応できる「支払余力」を有しているかどうかを判断するための行政監督上の指標のひとつです。平成14年9月末のソルベンシー・マージン比率は553.0%と十分な支払余力を確保しています。

健全な経営を維持していくための  
十分な純資産額を備えています。



実質純資産額とは、時価評価した資産から、ご契約に関わる各種負債等を差し引いた、いわゆる時価ベースの純資産額で、保険会社の健全性の状況を示す行政監督上の指標のひとつです。平成14年9月末の実質純資産額は1兆4,695億円で、総資産に対する比率は9.0%と十分な水準を確保しています。

当社の格付 (平成14年12月1日時点)

**A+** **BBB+** **A+**

(株)日本格付研究所 保険金支払能力格付  
スタンダード&プアーズ (S&P) 保険財務力格付  
AMベスト社 保険財務力格付

「格付」とは、会社の収益力・財務状況などを、さまざまな角度から総合的に評価し、わかりやすい記号で表したものです。

※「保険金支払能力格付」は、保険金支払債務を契約どおり支払うことができる能力を評価したものです。「保険財務力格付」は、保険契約の諸条件に従い保険金を支払う能力に関し、保険会社の財務内容について評価したものです。

※左記の格付は、当社が依頼して取得したものです。

※格付は、個別の保険契約の加入・解約・継続を推薦するものではありません。

※格付は、左記時点での格付会社の意見であり、将来的に変更・保留・撤回されることがあります。

保険本業において  
高い収益性を確保しています。



基礎利益とは、生命保険会社のフローの収益力を示す指標のひとつで、保険本業の期間収益の状況を表します。平成14年4~9月(半期)の基礎利益は1,210億円と高い収益性を確保しています。

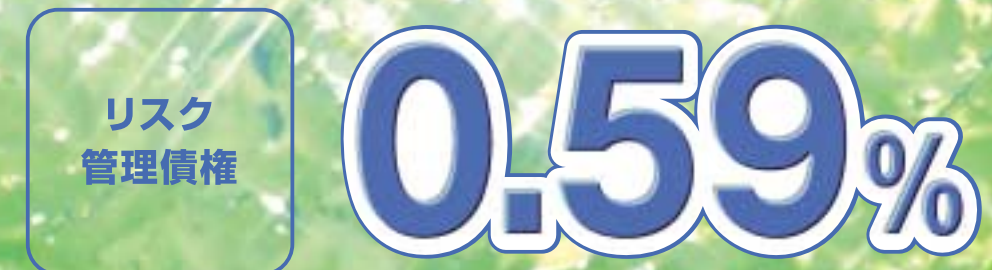
バランスのとれた堅実な資産内容で、  
十分な企業体力を堅持しています。



資産全体の含み損益とは、時価と帳簿価額(取得価額)との差額を指し、保険会社の企業体力を表すものひとつです。平成14年9月末の有価証券・土地・デリバティブ取引等を含めた一般勘定資産全体の含み益は6,241億円となっています。

なお、当社は、平成14年9月末において、日経平均株価が9,383円と平成13年度末より1,600円以上下落するなか、1,315億円の国内株式の含み益を確保しました。

厳格な自己査定を実施し、  
資産内容の健全性を堅持しています。



リスク管理債権とは、貸付金のうち、返済状況が正常でない債権を「破綻先債権」「延滞債権」「3ヵ月以上延滞債権」「貸付条件緩和債権」の4つに区分した総称です。平成14年9月末のリスク管理債権額は302億円、貸付残高に対する比率は0.59%ときわめて低い水準にとどまっています。